

## ■潜在意識のカード当て■

### 【内容】

ほとんど不可能と思われる状況から相手のカードを当てます。

### 【準備】

52 枚のデッキを使う。クラブの奇数とダイヤの偶数を交互にして A から K まで順番に並べる。

(トップが A)

### 【演技】

表向きに手の間でスプレッドして、怪しい所がないことを何気なく示します。トップ側は広げません。揃えて裏向きに持ってオーバーハンドシャフルしますが、下半分を持ち上げトップに1 2枚ランします。残りを上に重ねて、間にブレイクしておき、そこからダブルカットします。セットした部分がトップから1 3～2 5枚目にきます。

12 枚の X カード	AC	2D	3C	4D	5C	6D	7C	8D	9C	10D	JC	QD	KC	残りの デッキ
----------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	------------

デッキをテーブルにおき、1 人目の客に

「A さん、半分より少なめ、3分の1 くらいのところから持ち上げてください」と言います。相手のカットした位置がトップから13～25枚目の間にありそうなことを確認したら後ろを向きます。

「では持っているカードの一番下を覚えてください」と言います。覚えたと言ったら、もう一人の客に「では B さん、テーブルに残っているカードの半分ほどを持ち上げてください。その一番下のカードを覚えてください」と言います。

最初の客のカードはセットしたカードのいずれかになるはずです。

覚えたと言ったら「では A さん、持っているカードをテーブルのカードの上に重ねてください。その上に B さんの持っているカードをすべて重ねてください」と言います。ここで前を向きます。

デッキを持ち、「ちょっとまぜておきます」と言って、トップカードをダブルカットでボトムに回します。ボトムカードをバックルしてグリンプします。あるいは単にデッキ全体をいったんひっくり返して「お二人のカードがどこにいったか、わかりません」と言いながらボトムカードを見てしまいます。デッキは裏向きのままテーブルにおきます。

「この状態で二人の覚えたカードを当てようと思いますが、お二人に協力していただきます。お二人の心を読み取って当ててみましょう」

盗み見たボトムカードはセットしたうちの1枚のはずなので、A のカードはその1つ前のカードになり

ます。もしボトムがクラブの7なら相手のカードはダイヤの6となります。

A に向かって

「さきほど覚えたカードを強く思ってください」と言います。

心を読み取るしぐさを見せ、色や数字から当てていきます。

「赤い色ですね。わりと少ない数字です。ダイヤの6ですね」

相手が肯定したら、デッキを表向きに持って、1枚ずつ広げていき、ダイヤの6を探しますが、このとき、心の中で「7」（ボトムカードの数値）から枚数を数えていきます。つまり、最初のカードを「7」、次のカードを「8」とカウントするのです。

いま、19までカウントしてダイヤの6が出てきたとします（ダイヤの6はカウントしません）

ダイヤの6をテーブルに出し、右手に取ったポケットをボトムに返してデッキ全体を裏向きにします。

このとき、さきほどの数字（19）を40から引きます。これが2人目の客のカードのトップからの位置になります。（この場合、 $40 - 19 = 21$ ）

デッキをBに渡し、裏向きに持ってもらいます。

「では、覚えたカードをイメージしながら、上から1枚ずつテーブルに裏向きに配っていきましょう。

これだと覚えたカードが出たかどうかBさんにはわかりませんね。しかし、Bさんの潜在意識は今配ったのが覚えたカードかどうかわかるのです。そして私はその意識を読み取ります」

相手に裏向きに配らせ、21枚目を配ったら

「待って下さい」そのカードを、配ったパイルから横にずらし、

「今感じました。覚えたカードは何でしたか」

相手に言わせてから表向きにします。Bのカードです。